

- 【経緯】
- 嶺南快速鉄道整備のため、県50億円、嶺南市町31億円を積立て（H9～27）
 - 県と嶺南6市町において、今後の当該基金の活用に関する基本的な方針について概ね了承

○基本的な方針（案）

- 北陸新幹線小浜・京都ルート の決定を受け、北陸新幹線敦賀・小浜開業に向けた嶺南地域の公共交通の充実や地域の移動手段としての利便性向上策に活用する。
- 県および嶺南市町の基金のそれぞれの総額は、現在高を確保する。（減額調整はしない。）
- 対象事業は、小浜線をはじめ地域公共交通の充実等に資する事業とする。当面は嶺南地域公共交通網形成計画に掲げられた事業など敦賀開業に向けた対策（R2～6）に活用することとし、長期的には小浜開業も視野（R7～）に活用する。
- 嶺南快速鉄道基金の充当については、県と嶺南市町の合意のもと、活用候補事業リストを作成した上で、各事業の実施内容や効果を精査し予算化を行う。
なお、活用候補事業リストは、必要に応じて見直すものとする。
- 基金の充当に当たっては、国庫補助金など、別の財源を最大限活用した上で、その可否を検討するものとする。
- ランニングコストについては、特に、嶺南地域全体の新たな二次交通のモデルとなる事業等を対象に、原則3年を上限に実施することを可能とする。

〔参考〕

① 対象事業について

- 負担割合は、ハード整備 県2：市町1、ソフト事業 県1：市町1を原則。
- 「小浜線の利便性向上」といった共通の事業目的の達成に向けて、実施内容が待合環境の整備やバリアフリー、2次交通対策など各市町の状況に応じて異なることはあり得る。

② 支援スキームについて

- 県、市町、嶺南広域行政組合による協議の場を設け、対象とする事業内容や実施時期等を決定する。
- 基金の補助先を、原則として嶺南地域の広域的な団体に一本化。必要に応じて、そこから市町等に補助する。

○活用候補事業リスト（案）

【主な項目】

A 小浜線の利便性向上

- 運行の充実 （増便や折返し施設の整備等）
- 小浜線各駅の環境整備 （バリアフリー化、待合室の整備等）

B 広域交通の整備、充実

- 観光列車の導入に向けた試行と観光列車の整備
- 市町を跨ぐ広域観光バスの導入
- 公共交通のキャッシュレス化

C 新幹線駅を基点にした広域交通結節点の整備、強化

- 広域交通ターミナルの整備（新幹線敦賀駅や小浜駅の駅前広場・待合所等）
- 乗継ぎ案内機能の強化（乗継ぎ情報を提供する設備等）

D 小浜線各駅を起点にした交通結節点の整備、強化

- 交通ターミナルの整備（JR小浜線各駅の駅前広場・待合所等）
- 乗継ぎ案内機能の強化（乗継ぎ情報を提供する設備等）

E 小浜線各駅へと繋げる新たな公共交通手段の整備、充実

- デマンド方式やシェア方式など新たな移動手段の導入
- 新技術等の導入

※JR小浜線の整備は原則JRに求めていくが、協議状況によっては基金を活用する。

〔参考〕市町間の調整事項

- 市町ごとの基金積立額をどうするか、嶺南6市町間において調整中

○現積立額

（単位：億円）

敦賀市	小浜市	美浜町	若狭町	おおい町	高浜町	計	福井県	合計
2.1	14.1	2.1	8.2	2.6	2.1	31.2	50.2	81.4